

学校給食費

いわき市で
一部補助が実現

県の責任で全額無料化を！

河川維持管理費の拡充を

台風19号被害を繰り返させない！



宮川えみ子県議



学校給食費無料化をいわき市に要望

宮川・吉田両県議といわき市議団は、12月27日、学校給食費無料化を求める署名を添えていわき市に要望しました。その後いわき市は、4月から小・中学校の給食費について、第3子以降（18歳以下の子どもが3人以上いる世帯）の無料化を実施することになりました。

福島県内は、83%の市町村が全額や一部補助を行っています。子どもの医療費のように県も支援すべきです。いわき市はもちろん、全県で学校給食費無料化が実現するよう引き続き、取り組みます。



吉田えいさく県議

みなさんの声を県政へ届け、要求実現へ 引き続き全力をあげます

バス代・タクシー代の補助を

いわき市内各地の県政報告会では、バス代無料化やタクシー代補助の要望がどこでも出されています。県議会で引き続き求めていきます。



内郷高野地区で県政報告する吉田県議＝2月



山田地区で県政報告する宮川県議＝2月

医師不足問題で市医師会と懇談



いわき市医師会を訪問し懇談する宮川、吉田両県議
＝2022年7月

照明と歩道整備 要望受け現地調査



目の不自由な方から要望を聞く宮川県議(左)＝
2022年11月、植田駅前

河川改修で現地調査

2019年の台風19号は、夏井川流域に大きな被害を及ぼしました。共産党県議団は河川改修の増額を求め続けてきましたが、災害を受け、安全安心のための抜本改修を引き続き求めます。

また、鮫川の上流、高柴ダムと四時ダムの事前放流も実現できました。さらに、鮫川の改修も含め、各河川の堆積土砂の除去、堤防の草刈りや保全を求めていきます。



夏井川等水害対策促進の会と現地調査する吉田県議(左から2人目)
＝2022年12月



地元区長の要望を受けて鮫川の現地調査をする宮川県議(中央)＝2022年9月

原発賠償指針見直して 8万円の追加賠償が確定



いわき市民訴訟で仙台高裁に＝2022年7月

(写真右) 国会議員団と原発視察する
吉田県議(中央)＝2022年12月



汚染水・ALPS処理水の海洋放出問題で
県漁連を訪問し懇談＝2022年7月



討論

国言いなり、県民の願い 受け止めない県予算に反対



宮川えみ子県議
3月17日

新年度県予算は1兆3,382億円です。この中にコロナ対策費として1,412億円が盛り込まれていますが、財源はほぼ国の交付金。5類移行後も必要な対策を講じていのち、健康を守るべきと述べました。また、予算案は県民要望が反映したのものもありますが、国言いなりで以下の点で県民の願いに背を向けています。①物価高騰対策は直接支援がなく、中小企業支援も融資と設備投資への補助が中心。②温暖化対策は石炭火発から脱却する姿勢がなく、再エネもメガ発電中心で環境保全のルールづくりもしない。③農業資材高騰で経営危機に瀕する農家への支援が不十分。④原発事故対応では、汚染水海洋放出に反対せず、避難者支援も縮小。⑤教育では高校統廃合を強行、給食費無償化にも後ろ向き。以上の理由で反対しました。

議案・意見書・請願	提出	共産	県民	自民	公明	可否
2023年度福島県一般会計予算		×	○	○	○	可決
平和、いのち、くらしを壊す大軍拡予算案の廃案を求める意見書	共産	○	×	×	×	否決
東京電力福島第一原発事故の汚染水・ALPS処理水の海洋放出中止を求める意見書	共産	○	×	×	×	否決
消費税5%への減税及びインボイス制度の導入中止を求める意見書	共産	○	×	×	×	否決